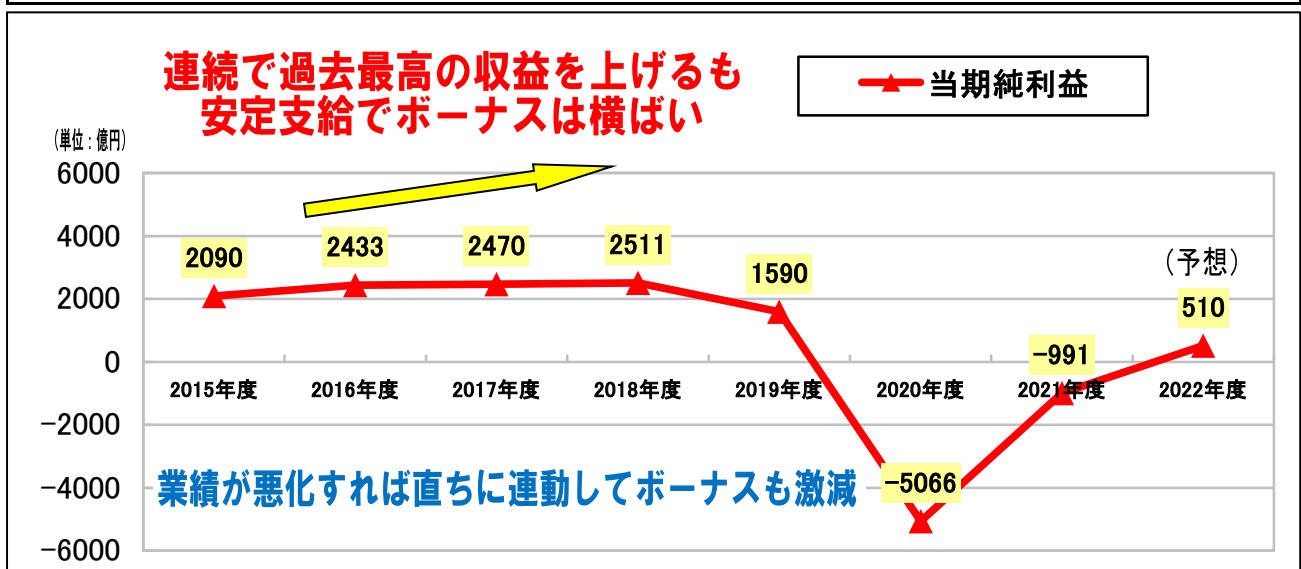
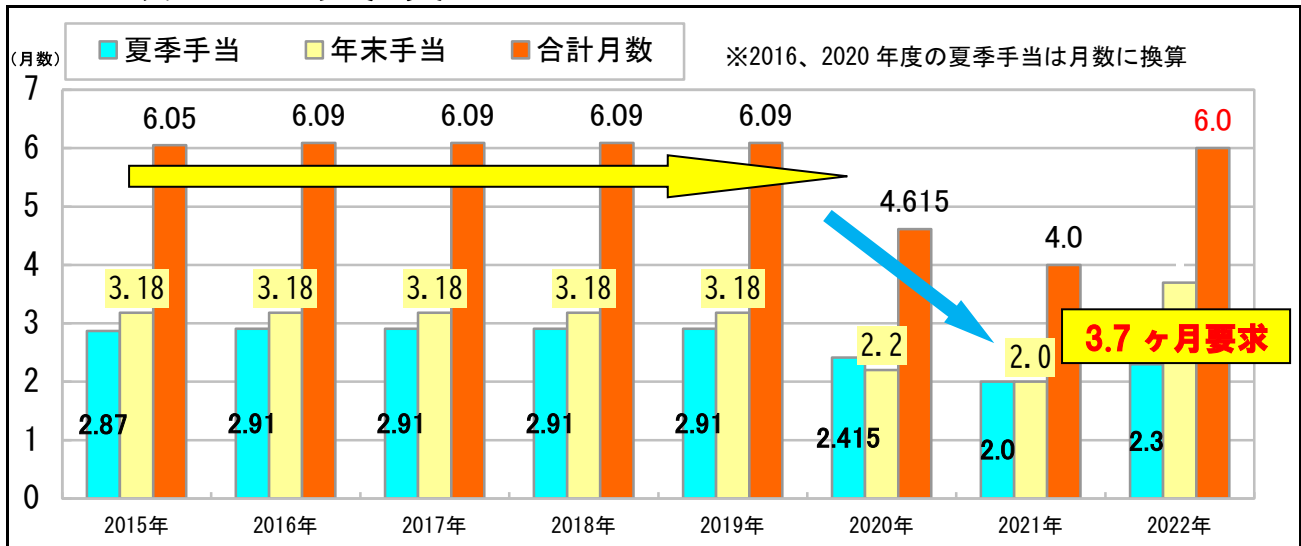




## 《2022年度 年末手当series①》

# 過去の期末手当の支給実績を振り返る 過去最高の実績でもボーナスは横ばいだった



## 年間「最低6ヶ月」以上が支給水準だ！

コロナ前の業績絶好調であった2018年度の年末手当と比較して、2021年度は約42万円減！年間では約70万円も下がっています！さらに最近は円安も進み、生活必需品の値上げが止まりません。

私たちは「年間6ヶ月」の期末手当水準をもとに、各種計画ローンや生活設計をしています。経営側も期末手当が社員の「生計費の一部」となっていることを、過去の団体交渉で認めています。

私たちが安心・安定して生活できる支給水準の期末手当（夏季手当・年末手当）年間「最低6ヶ月」とするために、2022年度の年末手当で3.7ヶ月分を勝ちとろう！

### 安心・安定した生活をするためには

### 期末手当「年間最低6ヶ月」が必要だ！